

IT 詐欺にご注意を！

最近では新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークや外出自粛によるネット通販利用の増加など、自宅でスマートフォンやパソコンに触れる時間が増えていませんか？ IT 詐欺犯罪者は巧みな手段で皆さんを騙そうとしていますので注意が必要です。今回は様々な手口の例を紹介しますので、被害に遭わないように注意点を再確認してください。

①フィッシング詐欺

銀行やクレジットカード会社などを騙った偽メールで本物そっくりの偽ページやアプリのインストールへ誘導し、住所、氏名、クレジットカード番号などを入力させて盗み出す手口をいいます。最近では、大手通販業者のクレジットカード情報変更通知やパソコンの乗っ取りを装ったメールや宅配業者の不在通知、携帯電話料金の未納をSMS（ショートメッセージサービス）で通知・誘導するなど巧妙化しています。

②クリック請求（罨サイト）

ホームページ内の特定のボタンなどをクリックすると、有料サービスの登録がされたという画面が表示され、入会金や使用料等が請求されることをいいます。最近では関係法令に定められた表示を用意するなど詐欺との判断を鈍らせる「罨サイト」、料金を払うまで警告音と請求画面が出続ける「迷惑サイト」なども存在します。

③偽ウイルス対策ソフト詐欺

実際にウイルスに感染していないにも関わらず「ウイルスに感染した」という嘘のメッセージをホームページ上にいきなり表示させ、偽ウイルス対策ソフトの購入やウイルス除去費用名目で料金を支払わせようとする詐欺行為をいいます。この対策ソフトは、パソコンから個人情報などを盗み出すウイルスの場合もあり、注意が必要です。

・詐欺に遭わないためには

- ①不審なメールやSMSは無視し、書かれているアドレス（URL）はクリックしない。
- ②よく知らないホームページでは不用意なクリックをしたり、アプリをダウンロードしない。
また、もし自動的にアプリがダウンロードされた場合は絶対にインストールしない。
- ③OSやブラウザ、ウイルス対策ソフトはこまめに最新バージョンへ更新する。

・もし、引っかけってしまったら

絶対にお金を振り込んだり、連絡を取ったりせず、国民生活センター（☎188）や道立消費生活センター（☎050 - 7505 - 0999）、警察本部のサイバー犯罪相談窓口（☎#9110）などに相談しましょう。

●不審者にもご注意を！

最近、札幌市や苫小牧市において、下半身露出や痴漢などの不審者情報が報告されています。中にはいきなり服を切りつけられた危険な例もありますので、夜間の女性や子どものひとり歩きは避ける、もし不審者らしき人を見かけたらすぐ逃げるなど、あらかじめ対策しましょう。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署☎0144 ㊟0110 追分駐在所☎㊟2003

安平駐在所☎㊟2339 早来駐在所☎㊟2030

遠浅駐在所☎㊟2211 役場総務課☎㊟2511